

これまでの取組

地区	取組開始年度	取組み状況
余	平成30年度	H31.03.09 出前講座（役員向け）
		R01.09.18 役員WG（取組協議）
		R01.09.28 出前講座（住民向け）、住民WG（図上訓練）
		R01.11.16 役員WG（まちあるき、タイムラインの検討）
		R02.01 簡易量水標設置
		R02.07.05 役員WG（防災情報入手訓練）
		R02.10.14 役員WG（避難の目安検討、まるまち看板検討）
		R03.02 まるまち看板設置
		R03.05.20 役員WG（水害・土砂災害に強い地域づくり計画、浸水警戒区域の説明）
		R03.10.27 既存住宅、避難所の現地調査
		R03.11.06 住民WG（水害・土砂災害に強い地域づくり計画、浸水警戒区域の説明）
R03.11.13 住民WG（水害・土砂災害に強い地域づくり計画、浸水警戒区域の説明）		



令和元年9月 出前講座、図上訓練

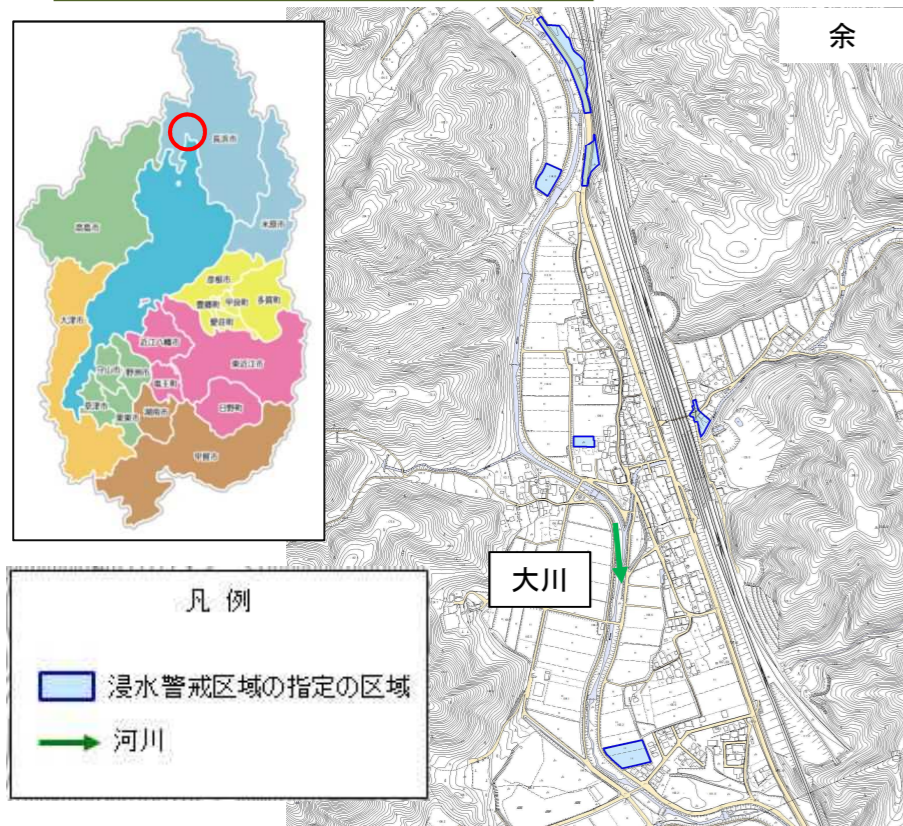


令和元年11月 まちあるき

浸水警戒区域指定に係る経緯

～令和2年度	
	■ 浸水警戒区域素案の作成、 ■ 想定水位の設定
令和3年度	
R03.05.20	■ 浸水警戒区域の役員説明会
R03.11.06 R03.11.13	■ 浸水警戒区域の住民説明会
R03.11.21 R03.11.26	■ 「浸水警戒区域の指定」に関する個別相談窓口の開設（オープンハウス） 11.21：余会館 11.26：長浜市北部振興局
R04.01.27	■ 第15回湖北圏域 水害・土砂災害に強い地域づくり協議会
R04.02.08～02.21	■ 浸水警戒区域指定（案）の縦覧
R04.02.22～03.04	■ 市長への意見照会
R04.03.10	■ 滋賀県流域治水推進審議会
R04.03（予定）	■ 浸水警戒区域指定の告示

今回指定を予定している区域



取組を進める中で出た主な意見や質問（⇒質問に対する県の回答）

【浸水警戒区域について】

- 嵩上げに係る費用の補助が現状より多いとよりよい。
- 建築確認が必要ない場合でも、確実に安全な住まい方が実践されるよう工夫が必要である。
- 様々な意見があると思うが、個人の意見を聴いてもらえるような場はあるのか。
⇒条例上の手続きとしては、区域案の縦覧時に関係者からご意見をお聴きする期間を設けているが、その前に自治会説明会を実施し個別説明窓口を設置するので、まずはそこでご意見を聴かせていただきたい。
- 反対するような意見があった場合はどうなるのか。
⇒区域指定については合意形成を図りながら進めているので、ご理解いただけるよう丁寧な説明を続けたい。

【大川について】

- 浚渫の必要性を強く感じる。
- 簡易量水標が設置されているが、浚渫をするなど適切に維持管理していく必要がある。
- 上流部の川と山が接近する場所で倒木が発生すると川の流れが堰止められるので、山を適正に管理してほしい。

【避難について】

- 余会館は地域の避難場所となっているが、土砂災害警戒区域内であり、また東岡川の水の流れの影響を受けないのか。
⇒余会館は鉄筋コンクリートの2階建てであり、土石流が発生したとしても耐えると思われるが、土砂が流れ込む可能性はあるため、2階への避難をお願いしている。また、浸水リスクはほとんどない。
- 防災無線は余会館だけに配置されるようになったが、各戸に聞こえないので検討が必要。

【その他】

- 東岡川は閉塞すると水が溜まり危ないので、浚渫してほしい。
- 雪害がひどく、その対策が重視される地域と思っている。



令和3年11月 住民説明会